

教科(科目)	公民 (政治・経済)	単位数	3単位	学年 (系)	6学年 (文系)
使用教科書	「詳述政治・経済」(実教出版)				
副教材等	・『最新政治経済資料集 2025』(第一学習社) ・共通テスト対策 ステップアップ 公共、政治・経済 (第一学習社)				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①幅広い教養を身につけ、他者と協働しながら、粘り強く挑戦し続け、地域社会や国際社会に貢献する意欲や資質・能力を備えた人材を育成します。 ②主体的、自律的な人間として、行動力にあふれ、自他を大切に思いやりの心とリーダーシップを兼ね備えた人材を育成します。 ③主体的に学ぶ力を身に付け、社会における課題等に基づき、創意工夫、試行錯誤を重ね、その解決のために行動できる人材を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、発達段階に応じて1・2年を「基礎の充実」、3・4年を「発展・挑戦」、5・6年を「自律・深化」に分け、学習内容の確かな定着、主体的で対話的な学習態度の育成を図りながら次の教育活動を展開します～ ①総合的な応用力、学問への探究心を育むとともに、知識や技能を活用するための思考力、判断力、表現力を育成する課題解決型の授業を実施します。 ②他者とコミュニケーションを取りながら、地域社会や我が国の魅力を国内外に発信できる知識・技能等を高めるための学習活動を実施します。 ③身に付けた力を社会で発揮するため、地域貢献活動、社会体験活動への参加を推進します。 ④自己肯定感を高め、他者を思いやり、多様性を理解する態度等を育成するため、系統的な特別活動や学年を超えた多様な体験活動を実施します。

2 学習目標

<p>社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。</p> <p>(3) よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>

3 指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会での学習内容をから発展し、より深く理解するよう学習する。 ・現代社会の政治や経済の問題について、ただ学ぶだけではなく、主体的に取り組むことができるような考えを持つようにする。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。</p>	<p>国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断している。</p>	<p>よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 世界の人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性を持つことや地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
評価方法	<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ペーパーテストの分析 観察、実験、式やグラフでの表現の観察 レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 <p>などから、評価します。</p>	<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ペーパーテストの分析 授業中の発言、発表や討論への取組の観察 レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 振り返りシートの記述の分析 <p>などから、評価します。</p>	<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業中の発言、発表や討論への取組の観察 レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 振り返りシートの記述の分析 <p>などから、評価します。</p>

6 学習計画

月	単元名	授業時数	学習活動(指導内容)	時数	評価方法
4	<p>第1部 現代日本における政治・経済の諸課題</p> <p>第1編 現代日本の政治</p> <p>第1章 民主政治の基本原理</p> <p>1 政治と法</p> <p>2 民主政治と人権保障の発展</p> <p>3 国民主権と民主主義の発展</p> <p>4 世界の政治制度</p>	10	<ul style="list-style-type: none"> 政治や政治権力の意味とその役割について、理解している。 法の意義と機能について多面的・多角的に考察し、表現している。 法の支配や立憲主義の意味と意義について、理解している。 国家の統治原理として、法の支配や立憲主義を確立することの大切さについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 民主政治の考え方や、議院内閣制や大統領制の特徴について、理解している。 	10	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト 提出課題 授業態度 朝テスト

5	第2章 日本国憲法の基本的性格 1 日本国憲法の成立 2 平和主義 3 基本的人権の保障 4 人権の広がり	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の成立過程について理解し、憲法の三原則の重要性について考察している。 ・恒久平和主義の原則とともに、日本の安全保障政策の転換について理解し、日本の平和主義の今後について考察している。 ・人類が人権保障に向けてどのように努力してきたか理解している。 ・新しい人権が主張されるようになった背景や、新しい人権の具体的内容について、理解している。 	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・提出課題 ・授業態度 ・朝テスト ・定期テスト
6	第3章 日本の政治機構 1 立法 2 行政 3 司法 4 地方自治 ●諸課題へのアプローチ「主権者としての政治参加のあり方」	9 3	<ul style="list-style-type: none"> ・国会の地位と構成、法律の成立過程について理解し、また国会の課題について、多面的・多角的に考察している。 ・日本の内閣と国会の関係や、内閣総理大臣と内閣の権限について理解し、また行政課題について、多面的・多角的に考察している。 ・司法制度と課題について理解している。 ・少子化や財政難などの問題を抱える地方の現状を理解し、自分自身の問題として地方の課題について考察している。 <ul style="list-style-type: none"> ・左記のテーマでレポート作成 	9 3	
7	第4章 現代日本の政治 1 戦後政治の歩み 2 選挙制度 3 政治参加と世論	8	<ul style="list-style-type: none"> ・55年体制から連立政権への移行など、戦後日本の政党政治の変遷について理解している。 ・選挙権年齢が18歳以上であることを踏まえ、選挙の意義や、政治的無関心の危険性などについて理解している。 ・選挙のしくみ、政党の役割、世論の形成について、さまざまな情報手段を活用して、考察、構想し、表現している。 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・提出課題 ・授業態度 ・朝テスト
8	第2編 現代日本の経済 第1章 経済社会の変容 1 経済活動の意義 2 経済社会の形成と変容	2	<ul style="list-style-type: none"> ・経済の基本的なしくみと資本主義経済、社会主義経済の特徴を理解している。 	2	
9	第2章 現代経済のしくみ 1 市場機構 2 現代の企業 3 国民所得と経済成長 4 金融のしくみ 5 財政のしくみ	6	<ul style="list-style-type: none"> ・市場メカニズムについて理解し、価格の変化が消費者と企業の行動にどのように影響を及ぼしているか、さまざまな観点から多面的に考察している。 ・日本銀行の金融政策とその影響について理解し、金融を通じた経済活動の活性化のしくみやあり方を多面的・多角的に考察している。 ・財政の機能としくみや、租税の種類やその特徴について理解している。 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・提出課題 ・授業態度 ・朝テスト ・定期テスト

	●諸課題へのアプローチ 「持続可能な財政を実現するための税制のあり方」	3	・左記のテーマでレポート作成	3	レポート
10	第3章 現代経済と福祉の向上 1 経済の停滞と再生 2 日本の中小企業と農業 3 国民の暮らし 4 環境保全と公害防止 5 労使関係と労働条件の改善 6 社会保障の役割	1 2	・日本経済がどのように不況に対処してきたかを理解している。 ・日本の中小企業や農業経営者が直面している課題について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・日本の環境問題への取り組みについて理解し、SDGsを根本に据えた解決策を考察している。 ・日本の労使関係の特徴や、日本型労働慣行の特徴について理解している。 ・日本の社会保障制度の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。	1 2	・小テスト ・提出課題 ・授業態度 ・朝テスト
11	第2部 グローバル化する国際社会の諸課題 第1章 現代の国際政治 1 国際政治の特質と国際法 2 国際連合と国際協力 3 現代国際政治の動向 4 核兵器と軍縮 5 国際紛争と難民 6 国際政治と日本	1 2	・国際社会と国家主権について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・集団安全保障の考え方を理解し、交際連合の役割と課題について考察している。 ・冷戦終結後の国際関係について理解している。 ・軍縮の現状や人種、民族問題と地域紛争の実態について理解し、諸問題の解決に向けた国際社会の取り組みについて考察している。 ・国際社会の変化と日本の役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	1 2	・小テスト ・提出課題 ・授業態度 ・朝テスト ・定期テスト
12	第2章 現代の国際経済 1 商品・資本の流れと国際収支 2 国際経済体制の変化 3 グローバル化と世界金融 4 地域経済統合と新興国の台頭 5 地球環境とエネルギー 6 経済協力と人間開発の課題	9	・経済のグローバル化に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・貿易の意義、円高・円安が生じる理由、貿易摩擦などについて、考察、構想し、表現している。 ・国際社会における貧困や格差が解消されていない現状について、国際機構の役割や政府開発援助の意義が大きいことを理解している。 ・地域的経済統合がもたらす影響について理解している。 ・国際協力のあり方、国際協調の重要性から、日本の役割について自分自身の問題として、主体的に解決しようとしている	9	
1 2 3	課題学習	2 1	既習事項をふまえた応用発展的学習	2 1	レポートの確認

計110時間(48分助業)

6 課題・提出物等

・週末課題、レポート等

7 担当者からの一言

選挙年齢が18歳となり、6年生の諸君は誕生日が来たい投票ができます。日本と世界の政治をしっかりと学び、社会のあり方に主体的に取り組む有権者となりましょう。また、今後は、NISAなど投資の知識が必要になります。その国際経済の基礎を経済でしっかり勉強しましょう。